

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: comer

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		SDGs達成のための経営方針と重点施策を策定しミーティングで共有している。今後、定期的に更新していく。									8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンスにおける諸問題について、メンバー相互に注意喚起を促進する仕組みを構築している。																		16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		法令違反のない事業活動を実施している。判断の難しい案件は、メンバーは必ず経営者に、経営者は外部の専門家等に相談する体制を構築している。											10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		当店の事業活動がお客様に与える影響について、メンバー間で共有している。																		16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		【予定】知的財産に関する勉強会を実施する。(2022年3月)									8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		【予定】個人情報管理の厳守事項についてガイドラインを策定し、共有する。(2021年12月)																		16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		アンケート等を活用しお客様や取引企業の声を幅広く取り入れ、事業活動に活用している。																	16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		HACCPに沿った事業活動を推進している。					5					8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●														9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2				5					8				12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別や各種ハラスメントのない労働環境を構築している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		メンバーから労働環境の改善提案を受ける仕組みを設けており、適宜改善に取り組んでいる。			3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		公平公正な待遇を実施している。 【予定】就業規則の策定と周知を予定している。(2022年3月)						5.5				8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		メンバー個々のディーセントワークを実現するため、労働時間や取り組みたい仕事等のニーズを柔軟に取り込んでいる。 長時間勤務が続かないようにメリハリをつけたシフトを組んでいる。			3		5.5				8.5 8.8	10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		【予定】能力向上機会を創出するため、接客をはじめとするマナー研修を予定している。(2021年12月)				4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		【予定】健康診断の補助を設ける。(2021年12月) メンバーおよびその家族も含めた懇親の場を設け、メンバー間の信頼関係構築に努めている。			3						8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		様々な年齢層のメンバーを雇用している。今後も多様な人材を雇用し、価値観を認め合うことで新たな付加価値の提供に務める。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								16.7	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: **comer**

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	●	オンラインを活用したランチ会や飲み会が実施できる体制を構築している。			3					8	9.1		11	12													
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	【予定】サービスの質は低下させずに、ICTを活用した業務改革に取り組む。(2022年3月)												8	9.1		11	12									
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4							8	9					12								
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		排出ごみの分別を徹底し、適切な処理に取り組んでいる。			3.9			6.3									11.6	12.4			14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月の電気・ガス・水道の利用実績を分析し、その削減に取り組んでいる。							7.3										13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】簡易策定ツールを用いた分析を行う。(2021年12月) 環境に配慮したエアコンの設定温度にしている。		2.4					7.2 7.3 7.a									12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		無農薬・減農薬食材を積極的に活用し、生態系に配慮した活動を行っている。						6.6												14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		テイクアウトにおいて、リユース食器を積極的に活用し、廃棄物の抑制に取り組んでいる。										9.4						12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		【予定】節水ステッカーや雨水タンクを導入する。(2021年12月)		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6							11.5				14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		【予定】再生紙や裏紙の利用を推進する。(2021年12月)											9.4					12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	●	規格外の農作物の積極的な利用を推進している。 【予定】子ども食堂等への食材の提供を開始する(2022年3月)	1	2					6.4											12.3	14	15			17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	●																	11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4						11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●	●								6				9.4					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●	●	【予定】植林等、森林保全に貢献できる活動を開始する。(2022年3月)							6.1 6.3 6.6									11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	●																		12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	●												9.4						11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●									7.1 7.2 7.3 7.a			9.4					11.6 11.a	12.8	13						17.2	

